

パーク&サイクルライド社会実験 「古都りん」について

～電動アシスト付きレンタサイクルによる周遊観光の可能性～

奈良県 郡山土木事務所

1. はじめに

奈良県は、世界遺産をはじめとする豊かな観光資源に恵まれており、特に昨年開催された平城遷都1300年祭には国内外から数多くの観光客に訪れていただき、奈良の魅力にふれてもらうことが出来ました。

本稿では、平城遷都1300年祭の春、夏、秋の各フェア期間にメイン会場である平城宮跡周辺の渋滞緩和を目的に設置された3箇所のパーク&バスライド臨時駐車場の一つ平城宮跡駐車場（大和郡山）／九条公園（以降：九条公園駐車場）で、「パーク&サイクルライドの導入可能性の検証」、「パーク&サイクルライド駐車場に求められる機能の検証」、「地域の周遊観光における自転車利用の可能性の検証」を目的として実施した社会実験（愛称：「古都りん」）について紹介します。

2. 実験箇所

パーク&サイクルライドの起点となった九条公園駐車場は、大和郡山市北部に位置し、平城遷都1300年祭メイン会場の平城宮跡の約4km南に位置し630台駐車可能となっています。

隣接するサイクリングロード「奈良自転車道」が、会場と駐車場を結ぶ「古都りん」の動線となります。

この「奈良自転車道」は、奈良県内の大和野を縦断する3路線の大規模自転車道の一つで、奈良公園から法隆寺までを結ぶ延長21.9kmのルートであり、「古都奈良の文化財」、「法隆寺の仏教建造物」の二つの世界遺産を結んでいます。

九条公園駐車場は、この二つの世界遺産の中間にあり、自転車を利用して古都奈良を楽しんでいただく周遊観光拠点としては、非常に魅力の高いルート上に位置しています。（図1）



(図1) 実験箇所位置

3. 実験の概要

今回の実験では、九条公園駐車場内に電動アシスト付き自転車 50 台（表 1）を収容するコンテナハウスを設置し、自転車の貸出とアンケートの回収を行いました。（写真 1・2）また、貸出の際には、会場までのルートと周辺の観光情報を盛り込んだ「古都りん」活用便利マップをお渡しするとともに、初めて電動アシスト付き自転車に乗られる方が多いことから、自転車の安全な使用方法についても、説明を行うこととしました。

（表 1）実験の概要

実施主体	郡山土木事務所
貸出場所	平城宮跡駐車場内(大和郡山市 九条公園内)
使用車両	電動アシスト自転車:計50台
	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">26インチ :40台</div> <div style="text-align: center;">20インチ :10台</div> </div>
実施期間	①春季フェア期間(H22.4/24～5/9 16日間) ②夏季フェア期間(H22.8/20～8/27 8日間) ③秋季フェア期間(H22.10/9～11/7 30日間)
営業時間	8:00～18:30(貸出16:00迄)※秋季は17:30迄
料 金	無料 ※秋季は1,000円/日
検 証	アンケート実施 及び GPSロガーによる行動範囲確認



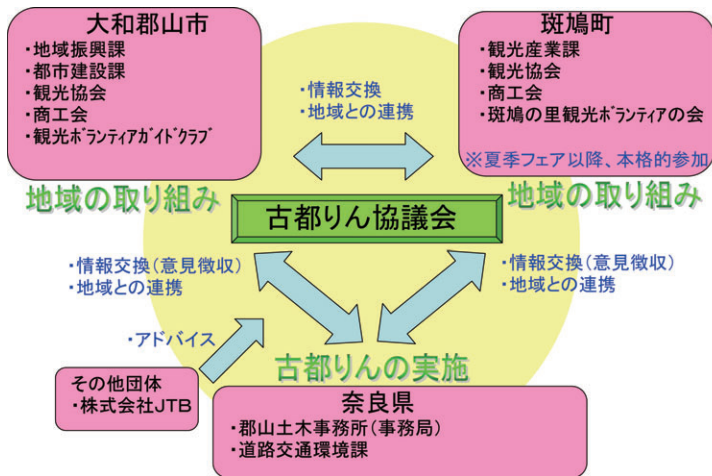
（写真 1）サイクルポート概観



（写真 2）サイクルポート内部

4. 地域との連携した取組

今回の実験では、平城宮跡と九条公園駐車場の往復の足としてだけでなく、周辺地域の周遊観光を促進するため、地域の方々（大和郡山市や斑鳩町の行政、観光協会、商工会、ボランティアガイドクラブ等）と「古都りん協議会」を組織し協働して取組を行いました。特に、夏季以降、地域協賛店とタイアップし、割引サービス実施や「古都りん」活用便利マップの内容の充実など、おもてなしサービスの充実を図りました。（図 2）（写真 3）



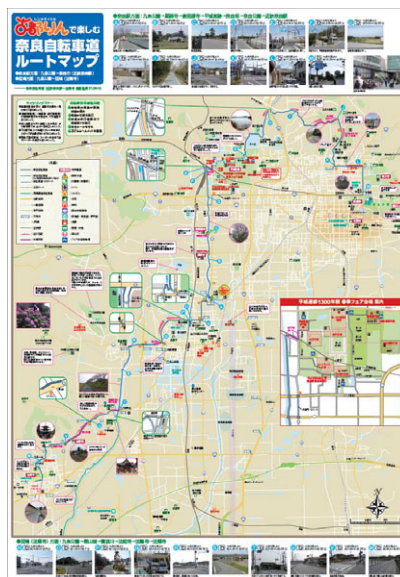
(図2) 古都りん協議会の構成



(写真3) 古都りん協議会

協議会が主体となって行った主な取組

- ・「古都りん」活用便利マップの作成（春・夏、秋）（写真4）
- ・ボランティアガイドクラブによる見所の案内（春、夏、秋）（写真5）
- ・地域協賛店とタイアップした利用者への割引サービス（夏、秋）（写真6）
- ・商工会（大和郡山市）による駐車場内における特産品の販売（春、夏、秋）（写真7）
- ・観光協会（大和郡山市）による金魚すくい体験サービス（夏）
- ・世界遺産「法隆寺」、「法起寺」をはじめとした観光名所のパネル展示（夏、秋）
- ・大和郡山市域におけるスタンプラリーの実施（夏、秋）



(写真4) 「古都りん」活用便利マップ



(写真5) ボランティア見所案内



(写真6) 地域協賛店サービス



(写真7) 特産品販売

5. 実験の結果

「古都りん」の利用状況

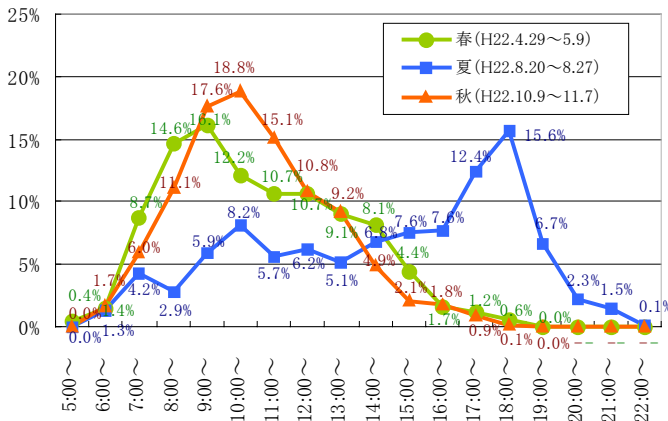
春季フェア期間中は、好天にも恵まれたことから、期間の平均の稼働率が100%を超え、4月24日（土）から5月9日（日）までの16日間で、合計828台の「古都りん」の貸出を行いました。（表2）特に5月2日（日）から5月4日（火）のGW期間中は、受付開始前からサイクルポート前に行列ができるほど盛況で、受付と同時に全数貸出となりました。（写真8）

夏季フェア期間中は、猛暑の影響と平城宮跡でのイベントが夜間に実施されたこともあり、早い目に帰着される（安全上夜間の貸出不可）傾向となり、平均移動距離は、春、秋と比べると短くなっています。（図3・4・5）

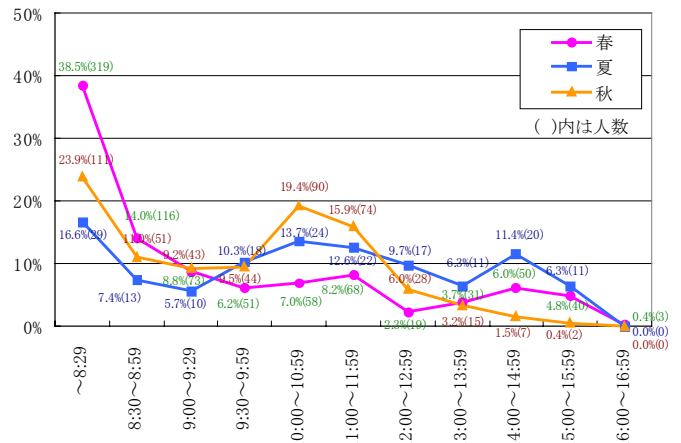
秋季フェア期間中は、将来の実運用を視野に入れ有料での貸出となりましたが、特に大きな影響はなく、休日の晴天日は、9割の高い稼働率となりました。

（表2）「古都りん」利用状況

実施期間	利用台数 (台)	平均利用台数 (台)			平均移動距離 (km)	平均駐車台数 (台)		
		全体	休日			全体	休日	
			うち晴天日	うち晴天日			うち晴天日	うち晴天日
春季フェア (H22.4/24～5/9 16日間)	828	52	62	62	17.3	446	621	622
夏季フェア (H22.8/20～8/27 8日間)	175	22	41	41	13.4	191	271	271
秋季フェア (H22.10/9～11/7 30日間)	465	16	31	45	17.3	257	415	475



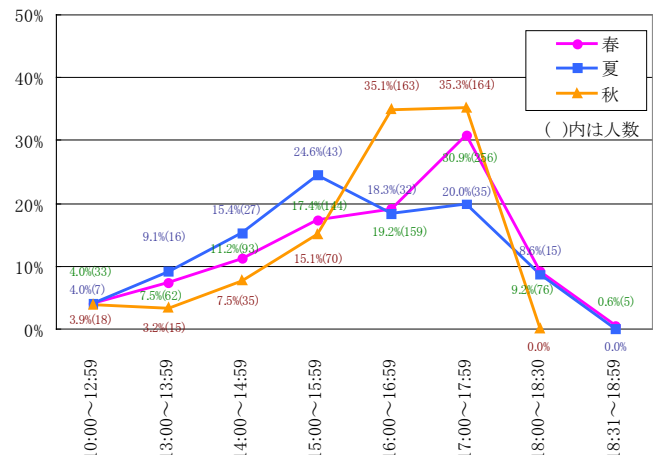
（図3）九条公園駐車場入り込み台数時間帯別割合



（図4）古都りん貸出時刻



（写真8）ピーク時の行列



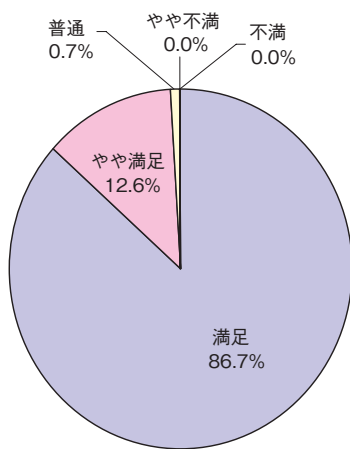
（図5）古都りん返却時刻

アンケートでの主な意見

利用後に面談形式でアンケートに協力して頂きました。おかげでアンケートの回収率は、ほぼ100%と高い水準となりました。

【利用者の満足度】

各季を通して95%以上の利用者の満足が得られました。(図6) 満足度に関する主な理由は、「電動アシスト付きで楽だった」「いろいろなところに行くことが出来た」などの意見が多く、一方悪かった点は、「駐輪場の場所がわかりにくかった」等の意見があげられました。(表3)



(図6) 利用者の満足度 (春季)

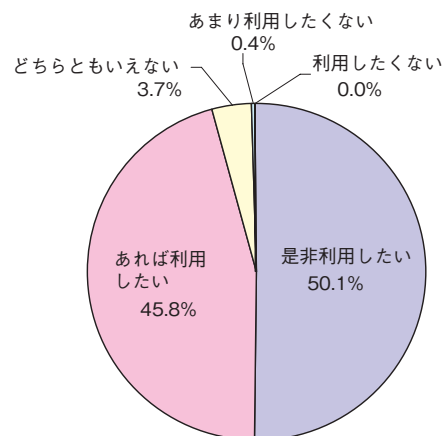
(表3) 満足の理由 (春季)

大項目	小項目	票数	
満足	自転車	424	464
	自然	31	
	健康	6	
	エコ	3	
利便性	自由度の高い移動	234	258
	便利	24	
利用環境	道路の整備状況	15	25
	目的地までの距離	5	
	駐輪場の整備状況	5	
	快適性	23	
	その他	15	

複数回答

【奈良の周遊観光におけるパーク＆サイクルライドの利用意向】

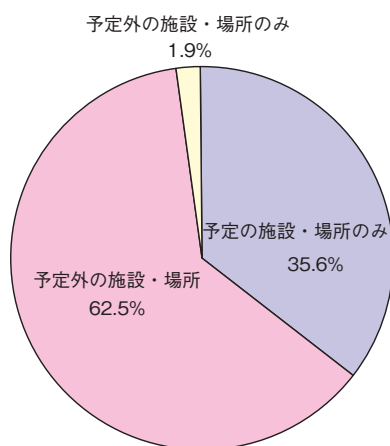
今後、奈良の周遊観光におけるパーク＆サイクルライドの利用可能性について、ほとんどの人が「利用したい」と答えを記入し(図7)、主な理由として、「駐車場の心配がないから」や「いろいろなところに行くことが出来るから」などの意見があげられました。一方、あまり利用したくない主な理由としては「天候次第」や「自転車で時間がかかりすぎたから」などの意見がありました。



(図7) 今後の奈良の周遊観光におけるパーク＆サイクルライド利用意向

【「古都りん」利用による観光行動の変化】

「古都りん」を利用することで、来訪主目的の平城宮跡以外の観光地を訪れた「予定外の施設・場所に行った利用者」が全体の64.4%もみられました。(図8) 電動アシスト付き自転車を利用することにより「ついで観光」という新たな観光行動の可能性が伺える結果となりました。(表4)



(図8) 予定外の行先割合

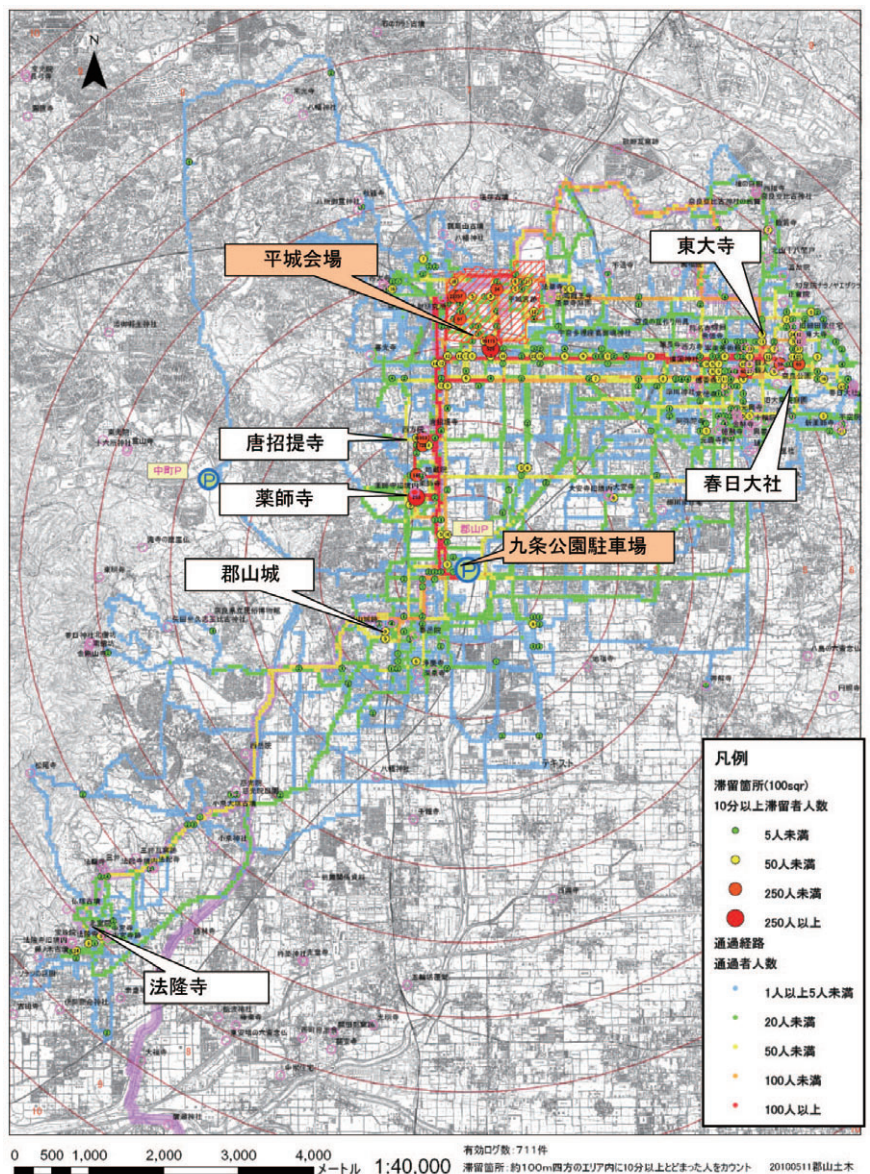
(表4) 平城宮跡以外の主な観光地におけるついで観光の割合

唐招提寺		薬師寺		郡山城	
全体訪問者数		全体訪問者数		全体訪問者数	
	うち当初訪問予定なし		うち当初訪問予定なし		うち当初訪問予定なし
413人	235人 (57%)	470人	287人 (61%)	45人	38人 (82%)

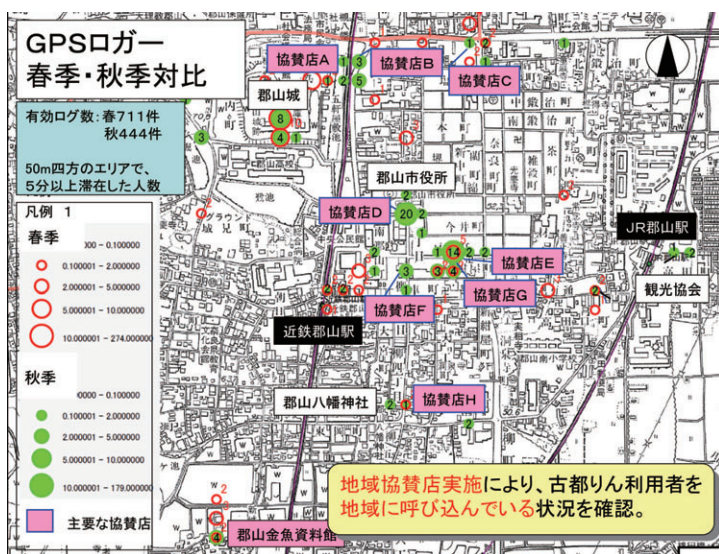
※春季 N=827件

「古都りん」の行動範囲

春季の各自転車に装着したGPSのログデータの軌跡を図上（図9）に表すと、九条公園駐車場を中心とし概ね7～8kmの移動が確認できます。平城遷都1300年祭メイン会場の平城宮跡だけでなく、世界遺産「古都奈良の文化財」の「東大寺」や「薬師寺」「唐招提寺」など奈良市内に多くの方が訪れています。また、南側の斑鳩町の法隆寺、法起寺、大和郡山市内の郡山城周辺についても周遊が確認できました。（図9） また、秋季においては、地域協賛店サービス等の効果で大和郡山市内への入り込みの増加も確認することができました。（図10）



（図9）春季の行動範囲



（図10）大和郡山市内立ち寄り箇所比較（春・秋）

6. 最後に

今回の実験では、広域の観光資源を巡る手段としての自転車の価値を確認することが出来ました。同時に地域が協働してそれぞれの地域の魅力の創造や発信に取り組むことにより新たな奈良の巡り方を提案できる仕組みのヒントが得られたと感じています。今後、古都りん協議会は、地域に主体を移行していくこととなりますが、平城遷都1300年祭以後、世界遺産をはじめとする地域の観光資源を生かした新たな魅力発信が出来るよう引き続き取り組んでいきたいと考えています。